
**EV開発のコウメイ
普通免許で乗れる電動3輪車「EVK-TRES（トレス）」を開発**



EVの開発・製造・販売を行う株式会社コウメイ（本社：兵庫県姫路市 代表取締役：有元浩明 WEB：<http://koumei.evk.jp/> 以下コウメイ）は2014年7月1日に電動3輪車「EVK-TRES（トレス）」を開発した。

2012年6月、国土交通省が「超小型車モビリティ導入に向けたガイドライン」を発表した。観光や訪問医療に同省が認めた「超小型モビリティ」を使う自治体や企業に対して半額を補助する制度が、2013年度から始まり、軽自動車よりも小さいクルマの普及を目指す動きが目立ってきた。また、東南アジアの新興国でよく見かける三輪のタクシーは、現在フィリピン国内で350万台が走行している。そんな中、フィリピン政府が主導で行い、アジア開発銀行（ADB）が各自治体をファイナンスする入札プロジェクトで、2016年までにフィリピン国内の三輪タクシー約350万台のうち10万台をEV化することを発表した。

（フィリピン政府：99百万ドル ADB：3億ドル）

上記のことから世界的に小型EV市場は今後大きくなることが予想できる。弊社では他社に先駆け2008年より電動バイクや小型EVの開発・販売の実績がある。ガソリン車から電気自動

車や電動バイクに改造するコンバートEV事業の実績があり。これら開発・製作・販売の経験で得た技術や開発部品、生産方法を生かしEVK-TRES（トレス）を開発しました。大手メーカーには真似の出来ない小ロット個別受注生産、特別仕様の生産に強みを持ち、観光利用を目的とした各自治体へ特化した専用車両の販売から始め、その後全国区への販路を拡大し受注拡大を目指す。将来的にはアジア市場(フィリピンやインド、スリランカ、バングラディシュ等)の新興国に展開できるモデルとなります。

今回、コウメイが開発したEVK-TRES（トレス）の主な特徴は下記の3点となります。

1.普通免許で乗れます

車種分類は側車付2輪車扱いとなり、普通免許で運転できます。また高速道路も通行可能で車検も不要な為、車両維持費も少ない。

2.パイプフレーム構造

EVK-TRES（トレス）はパイプフレーム構造で、フレームにデザイン性を持たせている為、構造が簡単のため低コストでの量産可能で、大がかりな設備を必要とせず生産できるメリットがある。視界性が良く開放感があるため観光地や遊園地での活躍が期待できる。

3.排気ガス0 騒音0 エンジン振動0

従来のガソリン車に比べて、EVK-TRES（トレス）の動力源は化石燃料を使用しないホイールインモーターの為、排気ガスの放出やエンジン音・振動が無いので、これからの時代を担う大変エコな乗り物です。

コウメイは今後、EVK-TRES（トレス）実証実験を行い量産体制を整え、本格的に小型車両市場に参入する。

このプレリリースはこちらからダウンロード可能です。

<http://release.evk.jp/20140714.pdf>

株式会社コウメイ会社概要

車名	株式会社コウメイ
所在地	兵庫県姫路市飾磨区中島3丁目51
代表	代表取締役 有元浩明（ありもと ひろあき）
資本金	10,000,000 円
設立	2008年8月8日
事業内容	電気自動車、電動バイク、スポーツサイクルの開発、販売
WEB	http://koumei.evk.jp/
（プレスリリースお問い合わせ先）	
担当	有元 浩明
電話	079-229-1487（代）
メール	info@dendouka.com



後方写真

前方写真

諸元は下記の通りです。（*1 走行の条件により数値は異なります）

メーカー	株式会社コウメイ
名称	TRES(トレス)
型式	KM07
種別	トライク(側車付2輪)
乗車定員乗車定員	3人
全長/全幅	2480mm/1280mm
ホイールベース長	1825mm
車両重量	286 k g
最高速度	75 k m/h
1充電走行可能距離	100 k m
モーター種類	ホイールインブラシレスモーター
モーター出力	定格2000W 最大4000W X2
ブレーキ種類	油圧ディスクブレーキ
タイヤ種類	チューブレスタイヤ
タイヤサイズ	前:110/90-13 後:150/70-13
サスペンション	(F)テレスコピック (R)オリジナルマルチリンク
フレーム形状・素材	オリジナルパイプフレーム・スチール
バッテリー種類	リチウムイオン
バッテリー容量	4,608Wh